

あ み だ じ  
阿 弥 陀 寺  
だ よ り

2013年 3月 1日 第 16号

発行

金剛山 阿弥陀寺

発行人 大谷 義文

☎ 861-2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916

☎ (096) 289-0424 ☎ (096) 297-9161

✉ amidaji@s3.kcn-tv.ne.jp

郵便振替:01710-8-68921 加入者名:阿弥陀寺事務所



JR熊本駅 在来線1番ホーム

組み合う

今回も法隆寺宮大工、西岡常一さんの言葉から。「木を組むんですけれども、寸法的に組むんじゃないに、くせをうまい具合に組んでおくこと。それが木組みの本当のあり方」。寸法を合わせるのではなく、右に反る木、左に反る木を寄せて引っ張るように押し合うように組むことで幾年月も保つという。現代の工法のように、釘でゴンゴン打ち付けボルトで締め付けているのでは、木のくせで内部から破壊が起こつてくるといふ。現代の青少年に重なる。「普通」という不思議な言葉で個性が寸法に合わされる。「将来」という見当できない路線に釘で打ち込まれ、組み上げられていく。結果、破壊していく事案が絶えない。法隆寺は、大材を使うため大きな荷重がかかる。くせのある

大谷 義文

木を適材適所に使うことが職人妙技だと言う。「素直な人間をひねってひねってくせをつけてますのやがな昔の教育は」、修行中の思い出も一言。「てりむくり」というカマボコ型にふくらんだ起くり屋根の曲線と、軒先に向かつて反っていく照り屋根の曲線の姿がある。唐門等に見られる日本独特の木組みの建築様式だ。あの組み合いが、私たちの精神ではないか。親鸞聖人は、釋尊の教えを「和して自然」と言葉にして示している。体罰、いじめ問題の議論が活発化している。しかし、誰かを曲者と疎外しては進歩がない。山形県の高校生の句。顔知らぬ名前も知らぬ人たちに 生きてほしいと願った三月 春彼岸、またいのちに組み合う心を忘れていた。



佐土原本店

熊本市東区佐土原1-12-1(佐土原バス停前)

電話 096-360-8488

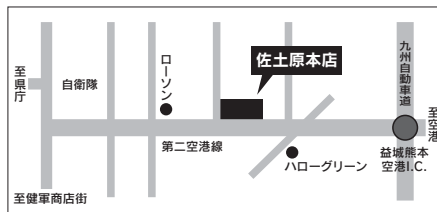
営業時間

昼/11:00~15:30(オーダーストップ15:00)

夜/17:00~21:30(オーダーストップ21:00)

定休日/毎週火曜日(祝日の場合翌日振替)

7・8月、12・1月は不定休



<http://www.kawasen.jp/>

リトル・ガール  
Little Girl あや  
最終回 山名です

### 年末恒例 もちつき大会

昨年未30日、境内でもちつき大会を開催した。たくさんの方がお正月の鏡もちを作ってくれた。2斗(20升)のもち米を「初老」中心に杵を担いだ。つき立てのおもちに、あんにきな粉、納豆に大根おろしで「賞味」「なんて美味しいのだらう」と眩きながら満腹になった。

### 感話

1月13日(日)、御正忌報恩講が勤まった。正午からお斎、勤行。中井賢隆師から御法話、「ただ仏恩の深きことをのび」。鄭光均師は「はくとオカリナ」―在日の狭間で―と題され、小学校唱歌を中心にオカリナを演奏された。温かく懐かしいメロデーに涙ぐむ姿も見られた。

法事等を義務的にやっている私たちの相を課題にされた。「恩に報いる」と言うが、返すことができなない恩を頂いて生きていくことに気づけるご縁が報恩講である。

ご自身が入院した時に「せっかくの骨折、ゆっくり休め」と友人に言われ、災難をご縁に気づか

## 御正忌 報恩講

されることがあると話された。「お陰さま」に生かされている我が身に気づかされた。(博真)

関東大震災時に幾多の在日朝鮮人が虐殺された悲劇を描いた油絵が本堂の両壁面に掛けられている。オカリナ奏者、鄭光均氏の作品。言葉にならない壮絶な描写がそこにはある。「1円50銭」という発音が出来ないことを理由に、何の罪もない人が虐殺された事実。しかし、時が過ぎるにつれて、徐々に記憶の片隅に追いやられようとしていると光均氏は訴える。そして、歴史の生き証人でありたいとオカリナを奏でる。

遠くの世界から聴こえてくる懐かしさも悲しくもある音色は、子どもの頃に遊んだ山や川、追いかけてまわしたとんぼや泥だらけになりつかまえた蛙を思い出す。白い衣装に身をまとい、「アリラン」、「野菊」、「追憶」、「コンドルは飛んで行く」、「竹田の子守唄」、そして「赤とんぼ」等々。奏でられる音は、悲劇で亡くなった方々への鎮魂歌であり、私は記憶することを学んだ。(雄二)

さんしよ取り 指にしみこむ 春のかおり

「人間力を育む100詩のメッセージ」から(小学4年生の句)

「ひとりりで空を眺めたら春の野の風が吹いている」なんて口ずさみたくありません。さて、今回ご紹介するジャズ名盤は、ジャズ界の帝王マイルス・デイビスの「カインド・オブ・ブルー」です。マイルスはモダンジャズを芸術の域まで引き上げた中心人物です。そして「カインド・オブ・ブルー」は数あるジャズレコードの中でも敢然と輝きを失わない名盤中の名盤です。私がマイルスを初めて聴いたのは、今から約40年前、大学2年頃のことだったと思います。当時、山口県に住んでいました。学生運動も下火になり、オイルショック

### ビート off・beat

総代のつばき 4回

皆さん、こんにちは。総代の森雄二です。会社保険労務士をしています。ジャズに熱狂した、青春時代を回想し、ひと言つぶやきたいと思えます。どうぞお付き合ひお願いします。

「ひとりで空を眺めたら春の野の風が吹いている」なんて口ずさみたくありません。さて、今回ご紹介するジャズ名盤は、ジャズ界の帝王マイルス・デイビスの「カインド・オブ・ブルー」です。マイルスはモダンジャズを芸術の域まで引き上げた中心人物です。そして「カインド・オブ・ブルー」は数あるジャズレコードの中でも敢然と輝きを失わない名盤中の名盤です。私がマイルスを初めて聴いたのは、今から約40年前、大学2年頃のことだったと思います。当時、山口県に住んでいました。学生運動も下火になり、オイルショック

### 「おくら」のつばき

第1回 森田典子

両手一杯に露の薫が届いた。アトリエに広げて描き始めると、露の香りに包まれた。夜は天ぷらにして頂き、苦味に喝を入られた。春の使者の粋な計らいだ。

さて私、十数年前に首の骨を折る事故に遭い、生きる屍と化した時、こんな春が来るとは想像もしていませんでした。出会いは必然と考えれば、大谷さんがいらいっしやったから仏教に出会ったと言っても過言ではありません。一目お

典子さんの作品

春の訪れを見て聞くこともなく匂いに慶び手にとり味わうことも忘れたら「いのち」という言葉は必要だ。原稿を書いている手を止める思わす顔を上げ、辺りを見渡す。春の訪れを少女に知らされた。

心と心のふれあいを大切に

MATUSITA.net

http://www.matusita.net

仏壇修復・御宮殿修復・須弥壇修復・彩色仕上・各種仏具修復新調

### 株式会社 松下仏壇店

熊本店/熊本市中央区上水前寺1-12-12 (東バイパス熊工前)  
096-384-5666

玉名店/玉名市中1832 (玉名高校前)  
0968-74-4840

山鹿店/山鹿市大橋通り404  
0968-43-5665

本店/大牟田市上町2-2-4 (上官通り)  
0944-56-3675

ショールーム/大牟田市曙町7番地の6  
0944-54-5518

阿弥陀寺 様でのお葬式

ファミリープラン (家族・親族の安心プラン) 30万円より  
他のプランもご用意。以下の内容が含まれます。

御棺一式 納骨一式 霊柩搬送 ドライアイス 遺影写真 生花祭壇

含まれないもの・・・ 送礼品、食事、火葬料金

想いを込めた送り方

### 想送の木山葬儀社

お問い合わせは！(24時間)  
益城町宮岡547-3 096-236-4640  
携帯 080-5214-4640  
メール info@kiyamasougi.com

# 春・彼岸会法要

日時・3月20日(水)・春分の日

午後1時30分 読経・法話(午後4時まで)

(午後5時から、本堂にて懇親会)

法話・大谷義博

(本山佛光寺・宗務総長)

(阿弥陀寺・住職)

講題・「自力を生かしめる、他力のはたらき」

※阿弥陀寺の御法座は、どなたでも参加できます。懇親会参加費500円。

# 安田登先生の寺子屋

日時・5月19日(日) 午後3時から5時(本堂にて懇親会あり)

講師・安田登師

(能楽師・朝日カルチャーセンター講師)

(阿弥陀寺・こども能子ヤレレンジ講師)

講題・「文字を学ぼう」

※講座参加費・お賽銭 懇親会参加費1000円。次回寺子屋は、7月7日(日)、11月3日(日)。

# 定例聞法会

日時・6月2日(日) 午後1時30分から読経・法話、4時終了

感話・森雄二

私がお坊さんになりたい理由

法話・大谷義文

『正信偈』に学ぶ

## 本の紹介



『つながり』の  
進化生物学

岡ノ谷一夫作

出版社・朝日出版社

定価(1500円+税)

言葉は「歌」から始

まった。そして、心はひとりじゃ生まれなかつた。「コミュニケーション能力が大事」なんて世間のルールより、「ヒトはどんな生物か」を知ることが、人間をしあわせにする。私たちの心は、進化の贈り物だ。「ヒトのはじまり」の謎に楽しく迫る高校生への連続講義。

## 猫伏石の声

### ○連載マンガ終了

第5号から3年間、12回連載いたしました「リトル・ガール」は、今号で終了します。作者あやさんは、来春の大学受験に向けて、学問に専念します。ユニークな場面を毎号提供していただきありがとうございました。

### ○新連載

森田典子さんに「おくらのおぶやき」と題して日頃の思いをエッセーにして連載して頂くことになりました。熊本市城南町に、ご主人と娘さんと

暮らしています。典子さんは、15年前に交通事故で首の骨を折り、一切の体の自由を失いました。しかし、懸命なりハビリの末、両腕と右手の親指は辛うじて動くようになりました。一昨年に本堂で「絵手紙」押し花」の作品を展示いたしました。

### ○得度受式

阿弥陀寺の総代、森雄二氏が3月26、27日に、本山佛光寺にて得度を受式されます。以前から仏教に関心を持たれ、念願成就です。今後は、これまで通り社会保険労務士として活動されます。

## 葬儀・祭壇 熊本県儀式共済グループ

ハタオ葬儀社 水前寺斎場

熊本市中央区国府1丁目12-3  
TEL.096-364-3220 (代)

豊住葬祭 豊住斎場

熊本市中央区河原町23  
TEL.096-324-4848 (代)